

「縄文の郷の子」学習の深まり

校長 新山 聡

「縄文の郷の子」を育てるために、今年度取り組んだ「縄文学習」の様子をご覧ください。各学年とも試行錯誤しながら、記憶に残る学びを実施することができました。これらは是川小だけのオリジナル学習です。

3 年生「縄文の食」



実を割って殻をとっている様子

3 年生は、縄文の人々は何をどのようにして食べていたのかを調べました。そして、狩りや採集のうち、栗や枹の実の食べ方について追究しました。縄文館で採集してきた枹で、クッキーや餅を作りました。

苦い枹の実を工夫して食べられるようにしていた縄文の生活に気付きました。

4 年生「縄文の衣」



縄文時代に近い機織りの方法で布を編んでいる様子

4年生は、縄文時代の人々はどのような服装だったのか調べました。布の素材だった「からむし」を縄文館から分けていただき中庭に植えました。

7月には、縄文館に行って、からむしを繊維にする体験を行いました。その後、麻糸を使って機織りについて追究しました。

縄文人は時間をかけて、工夫して衣服を作っていたことに気付きました。

5 年生「縄文の住」



完成した住居の前で記念写真

5年生は、縄文時代の住居について調べました。ちょうど発掘中の松ヶ崎遺跡の発掘現場を見学し、竪穴式住居跡を見て、ぜひ再現してみたいと興味を高め、校庭に建設し始めました。

縄文人が使ったであろう枝や石で掘り始めますが、なかなか掘れません。現代の道具を使いながら、また、壁にぶつかっては調べてみてを繰り返し、何とか完成にこぎつけることができました。

縄文人の苦勞を感じつつも、意外に快適そうな竪穴式住居を完成できて満足そうでした。

6 年生「他地域交流と発信」



Google meet を使った
遠隔授業の交流会の様子

6年生は、修学旅行で、世界遺産の「垣ノ島遺跡」と「大船遺跡」の2つの遺跡を巡ってきました。普通の竪穴式とは比べ物にならない深さに、圧倒されました。

調べた成果は、学習発表会や給食実践発表会で発表しました。また、同じく縄文遺跡のあるつがる市立瑞穂小学校の6年生と、Google meet を使って交流会を行いました。

同じようなテーマで学習した他地域の子供たちと学びがつながり、成果の広がりを感じることができました。

本格的な縄文学習への取組は始まったばかりですが、各学年で特徴的な問題解決的学習をすることができました。今後はより充実を図っていきます。